

# 技術資格者を増強

## 再エネなど事業領域拡大

日本  
コンサル  
大コ

大日本コンサルタンの新井伸博社長は2日、東京都内で開いた2021年6月期決算の説明会で今後の注力事業を明らかにした。7月14日に持ち株会社「DNホールディングス」（DNHD）が発足。事業会社



新井社長

の大日本コンサルとダイヤコンサルタント（東京都千代田区、野口泰彦社長）の強みを生かし、洋上風力発電や海外を中心とした地盤評価業務などで攻勢を強める。技術士の有資格社員を増やす取り組みにも力を注ぎ、事業領域拡大の足掛かりにする。

大日本コンサルが得意とする橋梁などの構造物、地盤調査で高度な技術力を持つダイヤコンサルのシナジー（相乗効果）を最大化。

橋梁設計や地盤調査など主力事業で売上高を20億円伸ばす。洋上風力発電を含む再生可能エネルギー事業への参入に加え、防災・減災分野で技術力を生かす。ドローン（小型無人機）を活用した空中電磁探査調査事業も軌道に乗せ収益拡大を狙う。

新規事業やコア事業の拡大を支える人材育成にも注力する。技術士試験の合格割合を2割（20年度の受験者数は180人）に引き上げる目標も掲げた。「技術士資格の保有人数を増やし、競合他社に負けない確固たる地位を築く」（新井社長）考え。ダイヤコンサルの野口社長も「資格取得に向けて社内外で講習の機会を設ける」方針を明らかにした。

DNHDは3力年の中期経営計画で、24年6月期の業績目標として連結売上高340億円（22年6月期予想は310億円）、営業利益24億円（17億円）を設定している。